

施策カ ル テ

1 施策の位置付け

								担当課	公園緑地課
総合計画 政策の柱	都市のさまざまな活動を支える都市基盤の機能と質を高めるために	政策名 (基本施策名)	機能的で魅力のある都市空間を形成する	取組の 基本方向	「機能的で魅力のある都市空間を形成する」ため、調和のとれたまちをつくるための「地域特性に応じた土地利用の推進」、各地域の機能・役割の明確化と機能連携・補完のための「都市機能の適正配置と機能関連の推進」、機能性が高くコンパクトなまちをつくるための「地域特性を生かした魅力ある拠点の形成」、都市の快適性の向上のための「緑と憩いの拠点づくりの推進」、良好な景観形成のための「都市景観の保全・創出」に、重点的に取り組めます。	政策目標 (基本施策目標)	市内のそれぞれの地域が、その特性に応じた個性や魅力、都市機能を備え、コンパクトで調和のとれた都市空間が形成されています。		

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

施策名	緑と憩いの拠点づくりの推進						達成状況	施策指標(単位)						達成率(%)	
	安全で良好な居住環境を有した地域の特性を生かした魅力ある拠点が形成されています。							H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標		
施策目標							市民1人当たりの公園面積(m ² /人)	---	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	---	
施策を取巻く環境	市民ニーズの高いコミュニケーションやレクリエーションの場として緑と憩いの拠点づくりを推進してきたが、現在もなお、身近に利用できる公園・緑地の設置に対する要望とともに、既存の公園に対する安全性の確保、防災・健康づくりなどの新たな機能に対しても関心が高まっている。							実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	---		
市民の施策満足度	14.5%	施策の評価	達成度(単年度目標)	達成している(90%以上)	概ね達成(70%~90%未満)	達成していない(70%未満)		説明	多様な市民ニーズに対応するため、市民協働による公園整備を行ない、市域全体としては都市公園面積と市民一人当たりの公園面積は徐々に増加している。						99.8%
市民の施策重要度	70.0%		必要性(住民・社会ニーズ)	増加している	横ばい	減少している		説明	気軽に自然とふれあえる場、コミュニティ形成の場としてはもとより、近年の健康志向などを背景とした市民の多様なニーズに対応した既存公園のリニューアルやバリアフリー化などの要望が多くなってきている。						
			効率性(事務事業の進捗)	十分である	不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある	説明	全体的に、着実に事業が推進されているが、全ての公園のバリアフリー化については整備に相当の期間を要することが想定される。							
			有効性(政策目標への効果)	十分である	やや不十分である	不十分である	説明	市内の公園を整備し、適切に維持管理することで、機能的で魅力のある都市空間の形成に役立っているため、今後も事業を着実に推進する。							
			現状課題の抽出						市民ニーズの高い、コミュニケーションやレクリエーションの場としての緑と憩いの拠点づくりは、徐々に効果をあげている。今後は、安全、安心はもとより、市民の健康志向や都市の個性づくりなど多様なニーズに対応するため、安定した財源の確保や市民の意見調整、地域と連携した効率的な管理運営などが必要とされている。						

3 今後の取組方針

取組の考え方	コミュニケーションやレクリエーションの場としての緑と憩いの拠点づくりは、一定の水準を満たし、徐々に効果をあげている。今後は利用者に安全で快適なオープンスペースを提供するため、公園の適正配置に努めるとともに、「災害に強い都市構造の確保」「自然環境との共存による環境教育・学習の場」「地域活性化に資する場」「日常的な健康運動の場」などに重点をおいた公園整備に努め、市民との協働による公園整備や管理運営を進めていく。	政策評価 会議意見	本施策の進捗状況は99.8%と高い水準にあるが、これと市民意識調査の満足度が乖離しているため、今後は、都市の快適性の向上はもとより、市民の健康志向や都市の個性づくりなど多様なニーズに対応した公園整備に努めると共に、本施策に対する市民満足度を向上させるため、市民協働による公園づくりを一層充実させる必要がある。なお、施策指標と市民満足度の乖離要因を分析・検証し、その結果を踏まえ、施策事業の進捗状況が適正に市民満足度に反映されるよう、施策指標の見直しの検討が必要である。
--------	---	--------------	--

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H19	H20	H19	H20	優先度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費	事業費			
					実績値	実績値	(千円)	(千円)			
1	身近な生活圏の公園整備 担当課 公園緑地課	市民	-	街区・近隣公園の整備数(箇所)	5	4	397,688	103,600	A	継続	市民のニーズもますます高まっていることから、気軽に自然とふれあえる場やコミュニティ形成の場として、公園の適正配置に配慮し、特定財源を確保しながら機能的で魅力ある身近な公園づくりに取り組んでいく。
					5	4					
2	公園のバリアフリー化 担当課 公園緑地課	公園利用者	H13	バリアフリー化公園数(箇所)	6	7	23,765	22,000	A	継続	高齢者や障がい者をはじめとした市民誰もが利用しやすく、安心して親しめる場とするため、公園のバリアフリー化を計画的に行い、特定財源を確保しながら効率的かつ効果的に進める。
					6	7					
3	河内総合運動公園の整備 担当課 公園緑地課	市民	H19	整備完了面積(ha)	-	-	0	0	A	継続	計画的な施工管理を行うとともに、関係部署との綿密な調整を図り、平成21年度内完成を目指して着実に取り組んでいく。
					-	-					
4	宇都宮城址公園整備事業 担当課 公園緑地課	市民	H12	多くの市民が参加するイベントの開催数(件)	12	12	15,645	525	A	継続	歴史的な重要性和立地条件を生かし、市民の心のよりどころとなる本市の個性やシンボルづくりのため、公園本体の利用・活用を促進し、気運の醸成を図りながら、事業スケジュールの確定や財源の確保などについて検討を進める。
					9	22					
5	八幡山公園利用促進事業 担当課 公園緑地課	市民	H14	競輪場との一体利用促進事業計画における実施施策数(件)	0	5	40,730	75,603	A	継続	八幡山公園の魅力アップが中心市街地の活性化にも寄与することから、「八幡山公園における競輪場との一体利用促進事業計画」に基づき、市民ニーズをとらえながら、有効な公園整備に取り組んでいく。
					0	5					
6	宇都宮市公園愛護会補助金 担当課 公園緑地課	地域団体	S51	公園愛護会設置数(箇所)	423	360	4,449	4,525	A	継続	愛護会構成員の高齢化により、除草等の愛護活動の継続が困難になり、解散を申し出るケースが増加傾向にあるため、より一層、愛護会制度の周知や愛護会への積極的な支援を図るとともに、新たな仕組みについても検討していく。
					350	352					
7	長岡公園整備(第2埋立地跡地整備)事業 担当課 公園緑地課	市民	H20	「もったいないの森 長岡」植樹祭参加人数(人)	-	300	-	6,958	A	新規	計画対象地について、「樹林地の再生」のコンセプトのもと、長岡公園の拡張部分として一体的に活用していくため、地元からの要望や課題の解決を図りながら、市民協働による「もったいないの森 長岡」植樹祭を継続的に実施し、着実に整備を進めていく。
					-	450					
8	公園トイレ整備事業 担当課 公園緑地課	市民	H20	多目的トイレ化した公園数(箇所)	-	1	-	25,292	C	終了	「宇都宮市やさしさはぐくむ福祉のまちづくり推進計画」に基づいた「公園バリアフリー化事業」に移行し、公園利用者の多様なニーズに応えながら、継続して取り組んでいく。
					-	1					
施策事業費合計							482,277	238,503			